様式３(2020.08改)

作成日　令和　4　年　11　月　7

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390800262
事業所名	グループホームさんさらな

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	コロナ禍のため、地域とのつきあいは、町内会の回覧板届や散歩での挨拶、近くのスーパー、コンビニでの買い物、喫茶店へ行く程度である。 収束すれば、ラジオ体操、神社のお祭り等への利用者の参加また、ボランティア団体の受け入れを再開を予定している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	コロナウイルスが終息しないため、今年度も会議が出来ず、昨年と同様に全てFAXでの送受信による6回の書面開催になった。参加者は、いきいき支援センター(地域包括)職員、町内会会長、町内会副会長、民生委員、管理者、職員、利用者等であった。意見等はFAXでの返信のため少なかったが、出された意見や情報は全体会議で検討し、サービス向上に活かしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	区役所とは書類の申請や生活保護関係等手続きで出向き、情報を得るよう努めている。地域包括支援センターとは利用者の身体状況や感染予防対策、食中毒、熱中症対策等、機会を捉えて情報交換している。地域包括主催の認知症の方との付き合い等の講習会に講師として参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	家族会は設置されてないが、家族等へ年3回、接客等の対応についてアンケートを実施して要望等を聞く仕組みがある。毎月さんさらなからのお手紙に活動内容、今月の様子、往診状況等を記載し写真入りで詳しく報告している。管理者や職員は家族等の面会時に要望や苦情等をしっかり聞き、素早い対応をしている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

備考欄】

コロナ禍のため運営推進会議は今年度も6回とも書面開催（FAX)となった。地域包括支援センター職員からは毎回書面で助言を頂いている。

１．外部評価軽減要件

① 別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

② 運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④ 別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ① 運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ① 家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価											×
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	×	○	○								